

氏名： 吉村 佳子 (YOSHIMURA Yoshiko)
所属： 人間文化創成科学研究科文化科学系
学位： 家政学修士
職名： 准教授
専門分野： 日本服飾史（古代・中世）・服飾美学
URL： <http://www.aesthe.ocha.ac.jp/fukshokbigak/>
E-mail： yoshimura.yoshiko@ocha.ac.jp

◆研究キーワード / Keywords

日本／服飾／美学／文様／色
Japane / Costume / Aesthetics / Pattern / Color

◆主要業績

総数（2）件

- ・蜘蛛の巣に桐桜の文様―「浮舟の模様」―補遺（『服飾美学』第46号、93-95頁、2008年3月）
- ・蜘蛛の巣文様についての一考察―江戸時代を中心に―（『服飾美学』第45号、55-72頁、2007年9月）
- ・フリーア美術館蔵『地藏菩薩霊験記絵』についての一考察―蜘蛛の巣文様を中心に―（『服飾美学』第43号、1-16頁、2006年9月）
- ・蜘蛛の巣文様の展開 ―中世における―（『服飾美学』第41号、37-54頁、2005年9月）
- ・五節の舞姫像 ―遍照の和歌の解釈を中心に―（『服飾美学』第29号、17-32頁、1999年9月）

◆研究内容 / Research Pursuits

人びとが服飾に託してきた心情や美意識の解明が研究の中心で、日本の服飾を対象にしている。最近では蜘蛛の巣文様について考察を行っている。

◆教育内容 / Educational Pursuits

日本服飾史、服飾美学。日本服飾の歴史と美意識の考察。

◆研究計画

これまでの研究を深化させるとともに、服飾研究の面白さを伝えられるような研究を行いたいと考える。

◆メッセージ

物語では服飾によって人物が示されることがあり、服飾は人物を語る役割を果たしています。また服飾は時代や社会も表します。

私たち日本人はこれまで服飾によって何をあらわしてきたのでしょうか。このような服飾の問題について一緒に考えてみませんか。



蜘蛛の巣と柴垣に朝顔の文様

『正徳ひな形』（西川祐信画 正徳三年〈1713〉刊）